

36 情報公開と情報共有の推進

評価意見検討シート

【4 1次評価（担当部長評価）】

(1) 施策の推進状況とその評価

- ・府内各部局と連携を図った、広報誌、ホームページ、タウンミーティング等を通じた積極的かつ効率的な情報発信により【指標1】については、成果が継続的に出ている。
- ・【指標2】については、低下傾向にあり、今後、手法も勘案しつつ行政情報や施策の情報を丁寧にわかりやすく、様々な媒体を使い発信する必要がある。

(2) 本施策に関する課題とその改善の方向性

市民への行政情報の積極的な提供により、透明性の高い開かれた市政運営を実現する事が出来る。そのプロセスの中で、徹底した情報の公開を統一的かつ有機的に進めなければならない。近年、より多様化する情報を、必要な市民に、必要な時に、届けるシステムを確立する必要がある。一方で、ICT技術の革新に対しての順応が必須であり、様々な変化を感じながら時代に求められる運用をしなければならない。

(3) (2)に関する具体的な対応策、改善事項　　具体的な事業名を併記

(重 点 充 化)		
手法改善	開催時期の再考により、市情報の発信の有効性を高める。市民の参加機会の充実。 平成25年度はホームページ作成ソフト(CMS)の改編年であり、平成24年度オープンソース(OSS)(1)の導入について検討を行う。 1:プログラムのソースコードを無償で公開し、ソースコードの改良や再配布の自由を認める姿勢や概念のこと。	ふれあいタウンミーティング開催事業 ホームページ運用事務
(総 小 合)		

第2回委員会の主な質疑・意見等

(1) 1次評価の内容に関する意見

- ・成果指標1の「行政情報が十分に提供されていると思う市民の割合」は上がっているが、指標2の「市政の透明度が高い感じる市民の割合」が下がっている。指標2を上げるためにには、他の方法も必要なのではないか
- ・ホームページの他、ツイッターの活用や、スマートフォンに対応するなど、発信の方法を考えながら、結果的に透明度もあがっていけばと考えている。

・指標1が上がれば、2も上がっていくものだと思うけれど、そうなっていないのが疑問。

・情報発信は既に色々な方法で行われていると思う。受け手がどうとらえるかの問題であり、確認の仕方がアンケート以外であれば、結果も違ってくるのではないか。

・指標1、指標2ともにトレンド推計ということか。

・前期戦略計画の指標は、平成17年を基準として、それ以前の数値が無かったので、目標値を上下の矢印で表示したが、今回(後期)は、過去5年間の実績値のトレンドを踏まえて、極力数値化した。

(2) 課題とその改善の方向性に関する意見

・市政の透明性が不十分を感じている人が、なぜそう思っているのかをピックアップして対処していくかないと、毎年同じことの繰り返しになるのではないか。足りない部分を確認して、どう対応していくかを考えた方がよいのではないか。

・広報等手段による制限はあるが、情報は、一回のみの提供ではなく、さまざまな形で何度も発信した方が効果的である。

・広報紙配布の活動指標については、全戸配布が達成できているのならば、比率の測定方法が正しくない。適正な修正を掛けるべき(2世帯住宅等で配布不要とされている世帯分を分母(全世帯数)から削除すべき)である。

・OSSの導入はコストの低さでは注目されていると思うが、問題点はどう考えているのか？

・導入は無料だが、今のホームページからの移行費用がかかる(数百万円)。保守費用もかかるので、導入に向けて検討はするが、検討課題が多々ある。メリットとしては、ソースコードが公開されているので、利便性などが向上する点。デメリットとしては、責任の所在が不明確な点である。

(3) 具体的な改善策に関する意見、その他個別事項等に関する意見

・ふれあいタウンミーティングについては、今までパワーポイントを使用したり、寸劇風にするなど、わかりやすい工夫をしてきている。参加者実績が目標に比べて低いのは、曜日や時間などの開催時期が問題ではないように感じる。

・事業評価シート36-4の記録撮影事業については、業務上の必要性は理解するが、活動指標の設定には無理があるのではないか。評価する必要があるのかが疑問である。

・市長室開放において出た意見はその場で回答するのか。

・課題によっては、担当課対応の方が解決が早いと判断した場合は、後日(原則7日以内)担当課から回答する。

・広報紙配布について、以前は町内会に依頼していたが、コストはどうなっているのか。

・平成15年度は1戸あたり440円/年 × 17,500戸 = 770万円

・町内会に依頼していた時は、町内会に加入していない人には配られなかつたので、全戸配布できるようになった事は良くなつた点ではないか。

・広報は市民が自分たちのために必要なものなので、コストを考えた時に、市民の側に配布手段を戻すという方法もあるのではないか。

・他市では、広報等を若い読んでもらえるよう、大学近くのコンビニに置いたりもしている。石狩に通勤・通学している人にも石狩に関わってもらうためには、こうした工夫も必要ではないか。

・配布を委託している業者には、配布先の情報を渡しているのか

・渡していない。一軒毎に配布なので、表札が二つあれば2冊配布など

・ふれあいタウンミーティングは、それ以外の方法でも情報を得る機会がたくさんあるから参加者が減少しているということはないのか。

・出前講座の利用状況は

・平成22年度の事業評価シートの実績では、平成22年度29回、平成21年度24件、平成20年度39回。

・出前講座の利用は思ったより少ない。出前講座があるからタウンミーティングの参加者が減っているわけではなさそう。